

校長会広報

No.855 令和6年4月26日
発行 岐阜県小中学校長会
岐阜市菅原町3丁目3番地
TEL (058) 265-0338
FAX (058) 263-8892
代表者 梅村高志
印刷 (株)杉江美術印刷



「不易」と「流行」を見極め、進む小中学校長会

岐阜県小中学校長会

会長 梅村高志

■このたび岐阜県小中学校長会の重責を担うことになりました。微力ではございますが、精一杯努める所存です。会員の皆様には、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

■さて、令和の幕開けとともに教育現場は未知なる新型コロナウイルスの影響を受け、それまで経験のない緊急対応に奔走しました。さらに、子供たちがやがて直面する社会構造は、少子高齢化や高度情報化、あるいは不安定な国際情勢や気候変動によって急速かつ複雑に変化しており、予測が極めて困難な時代を迎えていると言わざるを得ません。

松尾芭蕉が説いたとされる「不易」と「流行」という言葉があります。教育における両者は、もとより対立概念ではなく、変化に即した流行を追求する中で、決してぶれてはならない不易というものが、いっそう明確なものとなる、この考えのもと新時代のスタートラインに立つことの重要性を感じます。

ある識者によれば、「30年後、学校は存続するものの、教科指導の領域では人間よりも洗練されたAI教材が教授スキルに優れ、成果は上がるであろう」といった辛辣な見立てもあります。その一方で「将来、教師は不要となる」という論調をいまだ耳にしません。そこには「人間教育」への揺るぎない期待があり、教育が持続的に担うべく使命と責任が介在するものと確信します。「変化に富む時代を生き抜く心豊かでたくましい子供を育む」という到達目標に対して、真正面から挑むことができるのは、我々人間・教師に他なりません。

時に、現代人にとって自分が望むことを最優先に選択できる時代が訪れつつあると言われます。いわゆる「I（私）の時代」です。今やあらゆるサービスが個のニーズに合わせてくれる。TVのオンデマンドなどはまさに「好きな番組をいつでもどうぞ」

といったある意味、ご都合主義の象徴であり、ひとたびこの風潮が間違った形で教育に持ち込まれたなら心配です。学校は自分が望まなくても今すぐやらねばならないこと、自分には不都合であっても公共にとって有益なことが山ほどある中で、優先順位や絶妙な折り合いを学ぶ場所でもあるからです。

また昨今の争いが絶えない世界情勢を子供たちにどう伝えたらよいか、適切な言葉が見つかりません。確かに実社会では、お互いが理解できることばかりではありません。しかし、たとえ心から分かり合うことが困難だとしても、共有部分を精一杯探りながらせめて最悪の事態を回避する知恵と理性が求められるはずで、これからの多様な共生社会を生きる子供たちにとって大事な力は、異なる価値観をもった人々とも折り合いを付けながら、よりよく生きる力ではないでしょうか。

新たにスタートした「第4次岐阜県教育振興基本計画」の重点施策の一つ目に『多様な人となりが、関わる力の向上と心の教育の充実』があります。コロナ禍で様々な活動が制約される中、本来学び合いを通して育まれる対人関係力が弱まっているとすれば強化する必要があります。言わずもがな、自己と他者の間に優先的概念はなく「他を思いやりながら、自己実現を図る力」を今こそ育まねばなりません。

■山積する様々な課題に対して、それぞれの本質を見極め、柔軟かつ適正に対処する上で、大きな力を発揮するのが志を共にする私たち小中校長会です。本会にはこれまで諸先輩方が綿々と紡いできた歴史と経験があります。この強みを生かし、会員相互のつながりをいっそう強固なものに高めながら、子供たちの幸せと教職員にとって働きがいのある職場環境をめざして、力強く前進できるよう、皆様のお力添えを心よりお願い申し上げます。



組織的にリーダーシップを磨く 小学校長会

岐阜県小学校長会

会長 岩見 浩二

令和元年度3月卒業証書授与式での6年生の姿が今でも目に浮かびます。2月突然生じた新型コロナウイルス感染症拡大。対策のため全国の学校が臨時休業となった期間に対策万全にして実施した卒業式。練習がまったくできませんでしたが、実にたくましい、凛々しい姿で巣立っていった6年生の姿です。その後、学校は令和5年5月までの4年余り感染拡大防止と学びの両立を常に意識する学校経営が続き、子どもたちが目標をもって楽しく力を高める運動会、修学旅行等の教育活動は、関係機関と検討を重ね、感染対策に万全の期した状況下での実施でした。教職員の活動や研修も様々な制約を受け、その影響は決して小さくありません。こうした厳しい状況を経験し校長として学校経営において真に注力すべきことを見極める機会となりました。

1 先送りできない問題、持続可能な組織

こうした感染対策の影響に加え、不登校30万人、いじめ認知68万件、教職員休職者6,500人、教員不足、教員志願者減といった報道を目にするたびに、先送りできない問題に直面していると認識させられます。変化の大きい昨今の状況に対して現状の学校が持続可能な組織かどうか問われているとも考えられます。令和5年度10月東陸連小岐阜大会宣言文では、グローバル化・情報化の加速度的な進展、複雑化する国際問題、突発的な自然災害、新感染症対策、価値観の多様化等、予測が困難な時代の到来に言及し、GIGAスクール構想の推進やカリキュラム・マネジメントを意図した教育課程への見直し、教職員の働き方改革等の喫緊の問題に対して、校長がリーダーシップを発揮し向き合っていくことを確認しました。こうした状況でコロナ禍の経験値を生かし、校長として真に学校経営に必要なものを峻別し、関係機関とともに実効性のある方策を思い描き迅速に対応することが求められていると考えます。

2 学校経営に組織の力を生かす

こうしたことを踏まえ、校長会の組織的な取組をふりかえると、県小中校長会では、教育問題審議会

の検討課題（スクールロイヤー等の活用事例、校長のリーダーシップによる特別支援教育のマネジメントの在り方）は、困難な問題に向き合う際の方針、進め方等のヒントが得られます。

県小校長会としては、令和5年度東陸連小岐阜大会を参集型で開催しました。校長のリーダーシップを磨くことに話題を焦点化し、質の高い実効性のある成果が共有できました。大会の運営についても、効果的、効率的で配慮のゆきとどいたものとするため、岐阜市、岐阜地区及び関係の校長先生方がチームワークを発揮されたことも大きな成果でした。大会を機に作成した「大会要録」「大会報告書」及び令和5年度「研究紀要 NO.67」では、喫緊の課題に対し自校及び郡市の実情を踏まえ、真摯に向き合い、具体的な方策を試み、検証を加えた様々な研究実践を掲載されています。自校で実践する際のポイントが端的に示された資料として活用され、各校、各郡市の実態、実情に応じて学校経営に還元されることを切に願っています。

3 組織的にリーダーシップを磨く

これまで感染対策の状況下でも校長の学びを止めないために、令和2年度西濃大会は秋の研究総会を書面開催、3年度可茂大会、4年度岐阜大会は規模を縮小し方法を工夫して分科会のみを開催しました。令和5年度には第58回東陸連小岐阜大会を4年間の研究サイクルの集大成として開催しました。こうした歩みを踏まえ、令和6年度から新しい3年間の研究サイクルとし、分科会所属郡市も新たに組み替えました。この新たな歩みを令和6年11月飛騨大会として高山市の飛騨・世界生活文化センターを会場に開催する予定です。4年ぶりに全体会を位置付け、県教育委員会や開催地区の関係機関の方々をお招きし、県小校長会の活動方針や活動の具体についてご指導、ご助言をいただき、全ての小学校長が直接受け止める時間を大切にしたいと考えます。

今年度も皆様の英知と情熱を結集し、校長のリーダーシップを磨き信頼される学校づくりを進めてまいります。どうかよろしく願いいたします。



子供たちや教職員の「将来の幸せ」を 真に願って連携・協働する中学校長会

岐阜県中学校長会

会長 佐藤 幹彦

1 朝本校で

毎朝、生徒の登校時間前に余裕をもって出勤すると、本校の職員玄関やそこから続く廊下、さらには、職員トイレの中もピカピカで、鏡の前には、家の畑などで摘んできた綺麗な花がそっと飾ってあります。毎日実に清々しい気持ちで一日をスタートできることに感謝していますが、それらはすべて勤務時間前から時間を惜しんで掃除をしてくれている校務員さんのおかげです。

ある日の朝、すでに汗だくになっている校務員さんに、「勤務時間前から無理しすぎないようにね。」と伝えました。すると返ってきた言葉は「朝早いのは習慣。職員玄関やトイレは学校の『顔』。そこが汚いと自分自身が恥ずかしい。いつ誰が来てもいいように朝から美しくしておくのは、自分や学校のためにも当たり前。」といった言葉でした。そんな思いで学校や教職員のために次から次へと業務をこなされていく毎日に、頭が下がる思いでいっぱいです。

2 真の目的は

上述のことは、県教委から出されている「教職員の働き方改革プラン2023」的に、「長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の推進」「業務の適正化・効率化に向けた取組の推進」といった点から考えればツッコミどころ満載の状況かもしれません。しかし、校務員さんが学校を美しくすることに「やりがい＝幸せ」を感じていただいているという点では、校務員さんに心から感謝するばかりです。

プランの中には、「教職員の働き方や学校の業務を見直し、また、働きやすい良好な職場環境づくりに取り組むことにより、教職員の負担の軽減を図り、限られた時間の中で教職員が健康でいきいきと働くことができ、子供たち一人一人としっかりと向き合うことができるよう、学校現場と教育委員会が一体となって「教職員の働き方改革」を進める…」といった文面があります。その中でも「子供たち一人一人としっかりと向き合えることができるよう」という点については、「働き方改革プラン」の「真の目的」とされている言葉だと認識しています。しかし、

最近ではそのことよりも「教職員の勤務時間の負担軽減」といった点のみがクローズアップされてきていると感じているのは私だけでしょうか。

3 「幸せ」を真に願う

「元気に登校 笑顔で下校」…これは、私がいつも学校経営の「柱」として使っている合言葉です。対象は子供たちだけではなく教職員も含めており、自分自身の姿や指導成果を自己評価したり、新たな目標を持たせるための一助としたりしています。

きっと多くの校長先生方も似たようなことをされていると思いますが、「家庭でのこと」「学校でのこと」「仲間関係」等々、いろいろなことが噛み合わないとなかなか具現できないことは承知しています。さらには、不登校生徒が激増している現代ではなかなか受け入れられない言葉であるとも認識していますが、私はずっと使っています。その理由は、一人一人の子供や教職員が心身ともに健康で、いつも「元気・笑顔」でいてほしいと真に願っていること。そして、それぞれの居場所で、「楽しさ、やりがい」や「できた、わかった、やり遂げた」といった満足感や達成感を感じながら、自分なりの「幸せ」を見出してほしいと願っているからです。

4 さらに連携・協働を

東日本大震災はもとより、このところのコロナ禍や能登半島地震等、まさに「予測困難な激動の社会」の中にあって、教育界は今後さらに「課題山積、先行き不透明」という言葉に翻弄され、我々の悩みは尽きぬ状況が続くのは言うまでもありません。

しかし、どんな教育改革の波が押し寄せようとも、私たち中学校長会は、これまでの創意工夫ある研究推進と、進路指導や生徒指導に係る各種関係機関との良好な関係等、脈々と継承してきた財産を大切にしながら、子供たちや教職員一人一人の「将来の幸せ」を真に願って、各地区・各中学校間の連携・協働を大切にしていきたいです。そして、どんな状況の中にあっても、お互いにくじけず前を向いて進んでいく中学校長会となるよう、皆様の温かいご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2024(令和6)年度 岐阜県小中学校長会 活動計画

月	役員会・企画部会等	総会・代議員会等	そ の 他
4	5(金) 役員会①企画部会① 15(月) 役員会②企画部会② 18(木)~ 専門委員会(地区) 22(月) //		22(月) 監査会
5	8(水) 役員会③ 17(金) 役員会④企画部会③	8(水) 拡大代議員会①	21(火) 都市会計担当者会
6	10(月) 役員会⑤総会準備 21(金) 役員会⑥企画部会④	11(火) 校長研修総会(オンライン)	
7	3(水) 役員会⑦企画部会⑤ 12(金) 役員会⑧ 未定 役員会⑨	12(金) 代議員会①	3(水) 教育表簿検討委員会 未定 県教委への提言要望活動
8	未定 役員会⑩		23(水) 退職校長会との懇談
9	6(金) 役員会⑪ 未定 役員会⑫		未定 市町村教委連合会との懇談会
10	3(木) 役員会⑬企画部会⑥		
11	6(水) 役員会⑭企画部会⑦		
12	6(金) 役員会⑮	6(金) 代議員会②	
1	6(月) 役員会⑯ 10(金) 役員会⑰企画部会⑧ 教問審答申		23(木) 役員選考委員会
2	6(木) 役員会⑱	6(木) 拡大代議員会③	
3	未定 新旧役員会		

(注) 各会の活動計画は3月中旬段階の予定です。今後、変更も生じますので事務局の案内によってください。

役員

	会 長	副 会 長	
小中学校長会	梅村 高志(太田小)	岩佐 優(加納中)	書 記 上ヶ平尚久(緑ヶ丘中)
小学校長会	岩見 浩二(美濃小)	杉本 公彦(早田小) 服部 晃幸(長良西小)	企 画 奥村 雅人(広見小) 対 策 五藤 政志(笠松小) 調査研究 石樽 千恵(城西小)
中学校長会	佐藤 幹彦(蘇原中)	小川 瑞樹(穂積中) 神谷 憲一(上石津学園) 今西 卓(梅林中)	研究部長 平塚 剛(青山中) 総務部長 林 香里(鵜沼中)

企画部会

会 長	副会長	書 記	部 長	委 員
梅村高志	岩佐 優 服部晃幸 神谷憲一	上ヶ平尚久	岩佐 優	教問審：西川 正人(下有知小) 要 望：山田 茂樹(関・桜ヶ丘中) 広 報：石井 幹也(小島小) 出 版：加藤 浩幸(那加第三小) 進 路：河合美佐子(藍川北中) 教研会：今井田明弘(羽・中央)

教育問題審議会

会 長	委 員
西川 正人 (下有知小)	武藤 広朗(鵜沼) 大平 和子(鵜沼第二小) 加藤 大志(鵜沼第三小) 安江 政利(根尾学園) 荒金 啓子(神戸・北小) 富田 泰仁(大垣・北中)

小学校長会 活動計画表

月	総会・大会		役員活動	
4			5(金) 10(水) 17(水) 19(金) 26(金)	役員会① 役員会②PM 代議員会① 分科会委員長会① 分科会推進委員会①
5			1(水) 9(木) 10(金) 15(水) 23(木) 24(金) 28(火)	役員会③ 理事会①東陸連小理事研修会 東陸連小理事研修会 理事会① 全連小理事会(東京) 全連小総会 役員会④
6	11(火)	研修総会 (オンライン)	3(月) 10(月) 13(木) 20(火)	全連小事務担当者会 臨時役員会(総会準備) 全連小合同委員会 役員会⑤
7			2(金) 5(金) 10(水) 26(金) 26(金)	全連小広報担当者会 分科会委員長会② 全連小会長会 代議員会② 役員会②
8			21(水)	役員会⑦
9			5(木) 10(火) 18(水)	理事会② 分科会委員長会③ 役員会(臨時)
10	17(木) 18(金) 24(木) 25(金)	東陸連小愛知大会 (名古屋・常滑市) 全連小徳島大会 (徳島市)	7(月) 10(木) 23(水)	分科会推進委員会② 全連小対策・調研 全連小理事会
11	8(金)	研究総会飛騨地区大会	7(木) 22(金) 28(木) 29(金)	研究総会準備委員会 役員会⑧ 東陸連小事務局会 (南知多町)
12			5(木) 12(木)	分科会委員長会④ 役員会⑨
1			17(水) 23(木) 30(木) 31(金)	役員会⑩ 役員選考委員会 東陸連小理事研修会 (津市)
2			5(水) 12(水) 13(木) 14(金)	理事会③ 代議員会③ 全連小理事会 全連小理事会
3			4(火)	役員会⑪ 監査会 新旧役員会

小学校長会 役員名簿

役職	氏名	勤務校
会長	岩見 浩二	美濃小
副会長	服部 晃幸	長良西小
副会長	杉本 公彦	早田小
企画	奥村 雅人	広見小
対策	五藤 将志	笠松小
調査研究	石樽 千恵	城西小

中学校長会 活動計画表

月	総会・大会		役員活動	
4			4(木) 10(水) 12(金)	役員会① 企画委員会① ◆ 代議員会① ●○
5	【表中の記号】 東陸中岐阜大会 準備委員会 ◆：部長会(本部役員) ●：運営部会(理事) ○：係長会(代議員)		7(火) 13(月) 22(水) 23(木) 24(金) 27(月)	企画委員会② ◆ 研究推進委員会・臨時理事会 全日中理事会 全日中総会 (東京) 企画委員会③ ◆
6	11(火)	研修総会 (オンライン)	10(月) 18(火) 21(金) 24(月)	臨時役員会(準備) 私学協会との懇談会 東海修学旅行委① 企画委員会④ ◆
7	4(木) 5(金)	東陸中石川大会 (福井市)	? ?	中高校長懇談会 役員会②(県P懇談)
8				
9			4(水)	企画委員会⑤ ◆
10	16(木) 17(金)	全日中岩手大会 (盛岡市)	2(水) 16(木) 25(金)	企画委員会⑥ ◆ 全日中理事会 東海修学旅行委②
11	15(金)	研究総会岐阜地区大会 (各務原市)	7(木) 14(木) ? 25(月)	理事会① ● 研究総会(準備) 県教委との懇談会 企画委員会⑦ ◆
12			5(木) 6(金) ?	東陸中事務局会 (福井市) 中高校長連絡協議会
1			14(火) 17(金) 20(月) 23(木)	企画委員会⑧ ◆ 全日中理事会(東京) 理事会② ● 役員選考委員会
2			6(木) 7(金) 10(月) 14(金) 18(火)	東陸中理事会 ● (岐阜市 GV岐山) 代議員会② ●○ 全日中事務局会 東海修学旅行委③
3			? ? ?	監査会 私学協会との懇談会 新旧役員会

中学校長会 役員名簿

役職	氏名	勤務校
会長	佐藤 幹彦	蘇原中
副会長	小川 瑞樹	穂積中
副会長	神谷 憲一	上石津中
副会長	古田 隆洋	境川中
書記	平塚 剛	青山中
会計	林 香里	鶴沼中
進路指導委員長	河合美佐子	藍川北中
生徒指導委員長	寺田 幸広	岐阜西中
情報調査委員	安江 政利	根尾学園
情報調査委員	宇野 聡	城南中
研究総会実行委員長	酒井 茂	羽島中

令和6年度 郡市校長会名簿

	郡市	小中学校長会	小学校長会	中学校長会
岐阜地区	岐阜市	◎松巾 昭 長良中	◆奥田 昭夫 網代小	◆村田伊津子 岐阜清流中
	羽島市	山田 健司 竹鼻小	梅田 竜二 福寿小	酒井 茂 羽島中
	各務原市	山田 弘 那加中	松原 里佳 各務小	神山 里佳 稲羽中
	山県市	川島 誠 伊自良北小	奥田 宣子 桜尾小	森川 勝介 伊自良中
	瑞穂市	◎山本 邦宏 生津小	上水流弘美 中小	宮崎 智和 穂積北中
	本巣市	戸村 和夫 外山小	佐藤 直秀 真桑小	◆岩井 隆史 本巣中
	羽島郡	松原 茂 松枝小	◆平山 義浩 下羽栗小	伊藤 直輝 岐南中
	本巣郡	川瀬 和弘 北学園	堀 正樹 南学園	
西濃地区	大垣市	◎吉田 秀慈 西中	◆宇津 慎一 小野小	◆田辺 美樹 東中
	海津市	渡邊満智子 平田中	三宅 淑美 下多度小	宇野 聡 城南中
	養老郡	大蔵 徹哉 池辺小	島岡美和子 日吉小	河村 佳隆 高田中
	不破郡	松岡 裕二 宮代小	中上 敦士 合原小	山田 直人 垂井・北中
	安八郡	岡田 勝彦 神戸中	棚橋 千夏 仁木小	鎌宮 好孝 登龍中
	揖斐郡	澤田 辰男 大野・南小	竹中 健二 清水小	福井 康弘 揖斐川中
美濃地区	関市	藤根 隆 安桜小	◆小森 信行 倉知小	平田 昌隆 旭ヶ丘中
	美濃市	後藤 美華 牧谷小	古川 克己 大矢田小	◆武井 由典 美濃中
	郡上市	◎大江 裕之 三城小	村瀬 眞実 白鳥小	柴山 幸宏 八幡西中
可茂地区	美濃加茂市	◎上田 浩之 蜂屋小	近藤 真人 山手小	◆渡辺 英哉 東中
	可児市	伊佐治 晃 今渡南小	◆中村 牧史 帷子小	吉田 竹虎 西可児中
	加茂郡	鵜飼 修巳 坂祝小	桂川 辰也 東白川小	太田 紀宏 白川中
	可児郡	森 直樹 向陽中	岡田 優子 伏見小	広瀬 浩一 共和中
東濃地区	多治見市	◎國府田珠実 陶都小	林 伸彦 精華小	林 弘 小泉中
	土岐市	河地 敦子 泉小	塚本 修 土岐津小	三宅 裕一 濃南中
	瑞浪市	滝川 直樹 瑞浪小	加納 礼爾 明世小	◆中山 英三 瑞浪南中
	恵那市	楯 博子 恵那西中	市川 伸美 恵那北小	西尾 英憲 恵那東中
	中津川市	曾我 隆 付知中	◆伊地知みゆき 蛭川小	平岡 淳 第一中
飛騨地区	高山地区	脇田 裕子 新宮小	佐藤 義晃 清見小	岩佐 泰典 東山中
	飛騨市	◎渡邊 稔 古川西小	上口 淳 古川小	◆中村 裕幸 古川中
	下呂市	中川 明博 萩原北中	◆古守 史英 金山小	西 宗利 竹原中

◎印 代議員

◆印 地区理事

◆印 地区理事

◆編集後記

2023年度で満60歳を迎えられた89人の校長会員のうち、教諭として学校で教鞭をとり続けられる道を選ばれた方が21人おみえになります。満60歳になったとき、あらためて自らどう生きるか、主体的な進路選択をする時代に入りました。

(K)